

## 規格と許容値概要

### 【2.4GHz 帯高度化小電力データシステム 証明規則第 2 条第 1 項第 19 号】

試験項目	技術基準等
割当周波数又は指定周波数	2,400 ~ 2,483.5MHz
チャンネルの数又は間隔	-
周波数の偏差 (×10 <sup>-6</sup> )	50
占有周波数帯幅	FH, FH+DS, FH+OFDM : 83.5MHz その他 : 26MHz
スプリアス発射の強度	2,387MHz 未満 2.5μW 以下 2,387MHz 以上 2,400MHz 未満 25μW 以下 2,483.5MHz 超 2,496.5MHz 以下 25μW 以下 2,496.5MHz 超 2.5μW 以下
空中線電力の偏差	(1) FH, FH+DS, FH+OFDM(2,427-2,470.75MHz) : 3mW/MHz (2) OFDM, DS で 1 に該当しないもの : 10mW/MHz (3)(1)、(2)以外 : 10mW 偏差 : +20% -80%
拡散帯域幅	FH, FH+DS, FH+OFDM : 500kHz
拡散帯域幅/変調信号の送信速度	5
ホッピング周波数滞留時間	FH, FH+DS, FH+OFDM 0.4 秒以下 0.4 秒に拡散率を乗じた時間内で任意の周波数での周波数滞留時間の合計が 0.4 秒以下
副次的に発する電波等の限度	1GHz 未満 4nW 以下 1GHz 以上 20nW 以下
送受信装置以外のその他の装置	混信防止機能